

サイエンスカフェひろしま 実施報告

主催 広島市科学技術市民カウンセラー連絡会議・広島市

報告者 広島市科学技術市民カウンセラーサイエンスカフェコーディネータ 高橋裕子

第1回	1.5時間	日時	2006年12月23日(土)	14:00~15:30
話題	<p>「遺伝子研究で何ができるか」</p> <p>~ 遺伝子の正体から遺伝子診断・</p> <p>遺伝子組み換え食品への利用まで ~</p>			
話題提供者	佐藤 和正	広島市科学技術市民カウンセラー		
ファシリテータ	林 武広	広島市科学技術市民カウンセラー		
会場	広島国際学院大学 立町キャンパス 1F サロン			
参加費	350円 (抹茶かプレーンケーキ と コーヒーか紅茶)			
プレゼンテーション	パワーポイント・配布物なし			
趣向 [講義中心型]	<p>プレゼンと各卓で質問とりまとめ。各卓1問に回答、まとめ。ゲノムマップ配布。自由にのぞける顕微鏡・永久プレパラート。各卓に遺伝子組み換えカーネーション(青色)を生け、終了後、各卓合意の1名、合計5名が持ち帰った。</p>			
会場レイアウト	1卓(6名) = 市民5名 + テーブルアドバイザー1名 × 5卓			
参加者	一般31名、運営スタッフ10名。合計41名。			

第2回	1.5時間	日時	2007年2月3日(土)	17:30~19:00
話題	<p>「探査機「はやぶさ」の旅」</p> <p>~ 日本の小惑星探査機「はやぶさ」地球への帰還 ~</p>			
話題提供者	清水 幸夫	独立行政法人宇宙航空研究開発機構 JAXA		
ファシリテータ	高橋 裕子	広島市科学技術市民カウンセラー		
会場	広島国際学院大学 立町キャンパス 1F サロン			
参加費	350円 (抹茶かプレーンケーキ と コーヒーか紅茶)			
プレゼンテーション	パワーポイント、配布物 JAXA パンフレット。			
趣向 [講義中心型]	プレゼン、各卓質問とりまとめ、全体質疑、まとめ。			
会場レイアウト	1卓(5名) = 市民4名 + テーブルアドバイザー1名 × 5卓			
参加者	一般23名、運営スタッフ11名。合計34名。			

第3回	2時間	日時	2007年4月1日(日)	14:00~16:00
話題	「コミュニケーション今昔」 ～黒電話からデジタル通信まで通信の未来を考える～			
話題提供者	吉田 彰顕	広島市科学技術市民カウンセラー		
ファシリテータ	上野 哲	広島市科学技術市民カウンセラー		
会場	広島国際学院大学 立町キャンパス 1F サロン			
参加費	350円 (抹茶かプレーンケーキ と コーヒーか紅茶)			
プレゼンテーション	口頭。 終了時にプリント配布。			
趣向 [討論中心型]	アイスブレイク(各自の背中に貼られた名前を各卓のメンバーがヒントを言って本人に当ててもらい)、話題提供、「通信技術の進歩によって便利になったと感じること」「通信技術の進歩によって失われたもの」をさきに考えて「 通信技術の“陰”の部分 を克服しながら “光”の部分 を最大限に生かすためには？」ワークショップ。テーブルアドバイザーが画用紙にまとめ、市民発表。			
会場レイアウト	1卓(5名) = 市民4名 + テーブルアドバイザー 1名 × 5卓			
参加者	一般19名、運営スタッフ12名。合計31名。			

第4回	2時間	日時	2007年6月30日(土)	14:00~16:00
話題	「未来エネルギーにおける水素の役割」 ～クリーンエネルギー水素、その利用と貯蔵の技術～			
話題提供者	藤井 博信	広島市先端科学研究所特任研究員		
ファシリテータ	松尾 健司	広島市科学技術市民カウンセラー		
会場	広島大学 東千田キャンパス 東千田総合校舎1F 共用講義室2			
参加費	350円 (抹茶かプレーンケーキ と コーヒーか紅茶)			
プレゼンテーション	パワーポイント、環境省作製の新エネルギー自動車下敷き配布			
趣向 [討論中心型]	アイスブレイクで「楽しかった交通機関の思い出」を語る。ワークショップ形式で未来のエネルギー利用について考え、画用紙にテーブルアドバイザーがまとめる。市民発表。 屋外で 水素自動車 RX-8 を始動、排気ガス中の 二酸化炭素濃度測定 。水素利用時とガソリン利用時ではっきりと差が出た。			
会場レイアウト	1卓(5名) = 市民4~5名 + テーブルアドバイザー 1名 × 5卓			
参加者	一般25名、運営スタッフ14名。合計39名。			

第5回	1.5時間	日時	2007年8月9日(木)	18:30~20:00
話題	「夏の星空カフェ」 ~ 望遠鏡でみる星空とバーチャル宇宙旅行 ~			
話題提供者	林 武広	広島市科学技術市民カウンセラー		
ファシリテータ	佐野 穰一	広島市科学技術市民カウンセラー		
会場	広島市役所本庁舎 屋上庭園 (雨天時14F第7会議室予定)			
参加費	250円 (お菓子 と お茶)			
プレゼンテーション	宇宙図、パワーポイント、ミタカプログラム(赤青メガネ)			
趣向 [体験中心型]	晴天時;日没まで宇宙図のお話、バーチャル宇宙旅行。 薄暮終了後、11cm屈折・20cm反射天体望遠鏡と双眼鏡で天体観望(木星・アルビレオ・ベガなど) 雨天時(案);観望中止。バーチャル宇宙旅行を。			
会場レイアウト	テーブルなしで、25名ばらばらに座る。			
安全スタッフ	広島市科学技術市民カウンセラー (5名)			
参加者	一般25名、運営スタッフ14名 合計29名 他テレビ新広島スタッフ3名			

第6回	2時間	日時	2007年11月17日(土)	14:00~16:00
話題	「The Deep Sea-しんかい6500の世界-」 ~元パイロットが語る 深海底のふしぎな現象~			
話題提供者	田代 省三	海洋研究開発機構 JAMSTEC 海洋情報部広報課		
ファシリテータ	高橋 裕子	広島市科学技術市民カウンセラー		
会場	大手町平和ビル 5F 大会議室			
参加費	350円 (抹茶かプレーンケーキ と コーヒーか紅茶)			
プレゼンテーション	パワーポイントとビデオ、JAMSTEC パンフレット			
趣向 [企画提案型]	『しんかい6500』パイロットが撮影したビデオの解説、「広島市民は『しんかい6500』や JAMSTEC に何をしてもらいたいかな。」を各卓まとめる。提案や希望が続出。JAMSTEC 広報課長に提案した。			
会場レイアウト	1卓(5名) = 市民4名 + テーブルアドバイザー 1名 × 5卓			
参加者	一般20名、運営スタッフ12名。合計33名。			

第7回(予定)	2時間	日時	2008年2月11日(月)	14:00~16:00
話題	「エネルギー カフェ」 ~これからの新しいエネルギー(仮)~			
話題提供者	佐々木 健	広島国際学院大学 工学部教授		
ファシリテータ	未定	広島市科学技術市民カウンセラー		
会場	広島国際学院大学 立町キャンパス 1F 研修室			
参加費	未定 (飲物のみを用意する予定)			
プレゼンテーション	パワーポイント他			
趣向 [講義・体験型]	『これからの新しいエネルギー』について実験を取り入れて学習する。 詳細については・・・構想中			
会場レイアウト	1卓(6名) = 市民5名 + テーブルアドバイザー1名 × 8卓予定			
参加者(予定)	一般40名、運営スタッフ15名。合計55名。			

第8回(予定)	? 2時間	日時	2008年3月16日(日)	14:00~16:00
話題	電車カフェ ~200型ハノーバー電車に乗って~ 「LRT ライトレールトランジット Light Rail Transit ~21世紀の都市と交通を見つめる~」			
話題提供者	未定	広島電鉄		
ファシリテータ	加藤 一孝	広島市こども文化科学館		
会場	広島電鉄「ハノーバー電車」 広電本社乗車~市内走行~本社車庫			
参加費	未定(ハノーバー電車貸し切りのため)			
プレゼンテーション	配布プリント			
趣向 [体験講義型]	広島市と姉妹都市関係を結んでいるハノーバー市(ドイツ)から友好親善を目的として寄贈された1928年製の古風な路面電車で、2軸台枠の小さな車体に大きなパンタグラフをかかげた姿で、広島市民や鉄道ファンから「ハノーバー電車」と呼ばれて親しまれている電車への体験乗車。広島電鉄のLRTについて学習し、21世紀の都市交通を考える。 電車には運転手と車掌が乗車。			
会場レイアウト	座席定員で満員 そのうち5名程度科学技術市民カウンセラー			
参加者	一般x名、運営スタッフy名。合計x+y名。			

サイエンスカフェひろしま の概要と方向性

参加者 広島市の広報紙「市民と市政」で公募。事務局で電話受付のみ。

第1回からのリピーター複数名が毎回のように参加される。運営スタッフは広島市の事務局と科学技術市民カウンセラー、科学教育サポートネット広島のメンバー。いずれもボランティア。

参加費 コーヒーショップのテイクアウトとホールケーキを10カットしたものを通常は紅茶も選べるようにして、350円。実費相当の負担をさせていただくもので、余剰金は出していない。

会場 広島国際学院大学立町キャンパス(都心型サテライトキャンパス)を使用することが多く、同大学の後援をいただき、機材・会場費とも無償貸与である。この会場は広島市繁華街、東急ハンズと広島そごうの中間にあり、路面電車からもよく見える。



会場レイアウト 通常、広島国際学院大学立町キャンパスでは円卓。それ以外

の会場では長机2～3脚並べて、ぐるっと取

り囲むように着席する。5～6名。



広島市科学技術市民カウンセラー

テーブルアドバイザー

サイエンスカフェひろしまにおいては

各卓に**広島市科学技術市民カウンセラー**を1名配置。各卓における

開始前の自己紹介やアイスブレイク、ワークショップで活躍する。

講師選定 科学技術に関するアンケート結果などに基づきテーマを選定。

無料をお願いでき、なおかつ数回の打ち合わせで話題提供スタイル

や内容の変更を受け容れることのできる科学技術者をメンバーのネ

ットワークから選出、交渉、受諾、決定。

趣向 参加市民が、「プロジェクトXのようなお話を聴くだけではおもしろくな

い。」と思い始めている。「インターネットやDVDなどで視聴するだけ

ならひとりでできる。」と **サイエンスカフェひろしま** ならではの**趣向**

を楽しみにしている参加者が増えている。市民から科学者へ、ある

いは科学組織への「意見」や「感想」を伝えたい!!! そんな思い

のワークショップで活躍するメンバーや参加市民は楽しそうである。

今後は 新しいコミュニケーションの場であるサイエンスカフェのスタイルにつ

いて社会実験を継続する。ワークショップのファシリテーションがで

きる人材育成が当面の課題と認識する。アウトリーチとは異なる。

広島市の科学技術市民カウンセラーについて

広島市では、科学技術を真に人間的な目的のために利用し、新しい技術や産業に結びつけ、豊かで活力ある社会を創造していきたいと考えています。そのための取組の一つとして、市民と科学技術の橋渡し役を担う「科学技術市民カウンセラー」を試行的に導入し、活動を展開しています。平成17年10月1日号の広島市広報紙で市民ボランティアを公募。一般公募による選定であることが最大の特徴です。

広島市科学技術市民カウンセラー行動理念

私たち科学技術市民カウンセラーは、市民にとってわかりにくいものとなっている科学技術に関わる事柄について、日ごろから市民に情報提供を行い、市民の疑問には可能な限りわかりやすく説明するとともに、市民の科学技術に対する意見、要請を科学技術に携わる専門家の側に伝えるなど、地域に根ざした橋渡し役を担います。

この目的を達成するため、次のことを心がけて日々の活動を行います。

- 1 積極的に市民の声を聞き、科学技術に対する疑問や要請の把握に努めます。
- 2 新しい科学技術の知識の習得やコミュニケーション技術の向上など、カウンセラーとしてのスキルアップに努めます。
- 3 科学技術の研究や開発に携わる者の側に立つのではなく、公正な姿勢で市民に接します。
- 4 単なる専門知識として科学技術を語る専門家ではなく、社会との関わりも踏まえつつ、科学技術の現状をわかりやすく伝えることを目指します。
- 5 科学者・技術者と市民が一緒になり、今後の科学技術のあり方を話し合ったり、科学技術行政に対する積極的な提言を行ったりするためのきっかけや仕組みづくりを目指します。

平成18年(2006年)2月28日

広島市科学技術市民カウンセラー一同

活動人数 23名 (「科学技術市民カウンセラー」一覧表)をご覧ください。

(大学教員、中学・高校の理科教員や企業技術者などの経験者で、科学技術に対する素養を持ち、市民と科学技術との橋渡し役を担う意欲・熱意を持った方々です。広島市との直接的な利害関係は、ありません。) 広島市科学技術政策大綱にある「市民と科学技術との新たな関係の構築」に貢献したいです。

活動形態 ボランティア (交通費も自前。金銭的補助なし。)

活動内容

市民の科学技術に対するニーズを把握しながら、日常生活を送っていく上で生じる市民の科学技術に関わる疑問や不安の解消をはじめ様々なニーズに応える活動を行います。

【目指す活動例】

相談等の対応

地域の人々との関わりを通して、市民の科学技術に関わる様々な疑問やニーズの把握、掘り起こしを行い、「知りたいこと」、「気になること」、「疑問に思うこと」、「不安なこと」などについてわかりやすく解説します。広島市の持つ日本一の公民館システム(特にソフト利用)を有効活用しています。

講座等の開催

科学技術に関する相談会や科学教室、講座の講師役を務めます。

科学技術関連情報等の提供

情報等の提供 科学関連の講習会開催など科学技術に関わる制度やサービスの情報を提供します。

その他、市民ニーズに応じた多様な活動を検討し、実施しています。

「科学技術市民カウンセラー」一覧表

NO.	氏名	専門(関連)分野	職業等
1	阿部 馨	土木工学	会社員
2	一瀬 泰啓	宇宙教育、エネルギー教育、環境教育	会社員
3	井上 正史	理科教育(生物)	中学校教員
4	上竹 嘉和	電気通信、情報技術(IT)、ラジオ・テレビジョン放送技術	大学講師
5	上野 哲	倫理学(科学技術倫理学)	大学教員
6	大倉 幸三	土木工学	会社員
7	片岡 豊	機械、計測制御	元公務員
8	片桐 信彦	原子核理論	高等専門学校教員
9	河村 祐治	化学工学、安全工学	元大学教員
10	佐藤 和正	発生/再生生物学、分子生物学、生化学、分子遺伝学等	高校教員
11	佐藤 政美	農学、獣医学、畜産学	大学非常勤講師
12	佐野 穰一	電気工学	元会社員
13	高橋 裕子	薬学、禁煙指導、薬物乱用、教育ボランティア支援(宇宙天文)	学校薬剤師
14	滝口 忠彦	機械工学	元会社役員
15	寺内 衛	科学技術論、情報教育、理科教育、半導体デバイス	大学教員
16	富田 次信	機械工学	元会社員
17	林 武広	天文・地学教育、科学情報教育、マルチメディア、情報地学・環境地学	大学教員
18	平田 敏子	薬学	会社役員
19	松尾 健司	生命科学、環境科学	NPO 団体職員
20	森島 浩一	理科教育(物理)	中学校教員
21	安井 武司	機械工学	大学名誉教授
22	吉田 彰顕	情報通信(電波)	大学教員
23	吉長 成恭	総合人間科学、医学、商学等	大学教員